

やまもと

山本校区の

# 文化財マップ

久留米市教育委員会

## 山本校区の文化財

水縄山地から平野部へと広がる山本校区は、山の幸や湧き水に恵まれた校区です。

校区内では、縄文時代のおまつりに使われた石棒いしぼうが落間遺跡で採集され、土器や石器が兜山の山頂でも採集されているほか、弥生時代の土器などもたくさん採集されていて、早くから人々が暮らしていたようですが、遺跡の発掘が行われた例がまだ少ないため、詳しいことはまだよくわかっていません。

古墳時代になると、水縄山地の北麓にはたくさんの古墳が造られ、全国でも有数の古墳が集中する地域として知られていますが、山本校区もその一部で、昔はたくさんの古墳がありました。これらの古墳を作った人々の集落はまだ発見されておらず、暮らしの様子は不明です。

山地の上から校区を見下ろすと、水田が碁盤の目のようにきれいに並んでいるのがわかります。これは奈良・平安時代に行われた条里制じょうりせいと呼ばれる土地の区画法の名残で、「八ノ工」「十ノ工」などの字名も条里制に由来しています。

当時、山本校区は山本郡の一部で、観興寺・千光寺・永勝寺・老松神社など、今も信仰を集めるお寺や神社はこの頃に創建されたと伝えられ、不光院遺跡ひくわうゐんでは古代の観興寺に關係すると考えられる溝が発見されました。

平安時代の終わり頃から鎌倉・室町時代には、草野氏がこの地を支配していました。南北朝の争いの時には、水縄山地が南朝方の前線基地となって、耳納山城・谷山城などの山城が築かれ、たびたび合戦の舞台となったようで、南朝方の征西将軍宮懐良親王や菊池氏、北朝方の今川了俊いまがわ りょうしゅんに関する伝承も残っています。また、千光寺は懐良親王の陵墓と伝えられる墓所があるなど、南朝方とゆかりの深い寺ですが、草野氏が寄進した梵鐘には北朝方の年号が記されており、当時の複雑な政治情勢がうかがわれます。

古代に創建された寺社は草野氏の手厚い保護を受けて繁栄していましたが、相次ぐ戦国時代の争乱や、天正16年(1588)に草野氏が滅亡したことによって、寺社も衰微しています。

江戸時代になると、筑後一国を治めた田中氏や、その後、久留米藩主となった有馬氏によって寺社の一部は復興し、山本校区は筑後国と豊後国を結ぶ山辺往還の街道にそった農村風景が広がっていました。山辺往還に沿った豊田地区には、当時の御井郡と山本郡の境を示す郡境標が残っています。

毎年晩秋に鮮やかな紅葉を見せる櫨の木は、もともと実から搾った成分をロウソクの原料とするため植えられたものです。ロウソクは石油ランプや電灯がなかったころには高価な明かりで、赤字財政に苦しむ久留米藩は特産品として栽培を奨励し、かつては藩内各地に見られました。柳坂曾根の櫨並木はその面影を残す貴重なものです。

## ■こんなにあるぞ！山本校区の文化財■

No.	遺跡の名前	遺跡の時代	こんな遺跡です
1	山本郡糸里	平安～鎌倉	田んぼや畑を基盤の目のように区画して整備した、古代の耕地整理の跡が現代の地形にも見られます。
2	推定される古代の山辺道	奈良～平安	筑後国から豊後国（今の大分県）に向かう道が、このルートに推定されます。
3	大浦古墳	古墳	円墳が1基あったようですが、現在は失われています。
4	大浦宝篋印塔	中世	
5	前田A遺跡	奈良・平安	土器などが採集されています。
6	前田3号墳	古墳	朱塗りの石棺2基がありましたが、今は消滅しています。
7	西丈クラベ古墳群	古墳	4基の古墳が確認されています。
8	前田古墳群	古墳	石棺2基などがあったようですが、詳しいことは不明です。
9	前田B遺跡		土器などが散布する場所と伝えられています。
10	塚原遺跡	古墳～平安	古墳1基のほか、古代の瓦などが採集されています。
11	馬場遺跡	古墳	古墳2基が確認されています。
12	大屋敷遺跡	古墳・室町	土器などが採集されています。
13	大屋敷古墳群	古墳・室町	円墳1基と中世の火葬墓が確認されています。
14	本谷古墳群	古墳	円墳2基が確認されています。
15	東丈クラベ古墳	古墳	円墳1基が確認されています。
16	小寺西山古墳群	古墳	7基の古墳が確認されています。
17	平原古墳群	古墳	2基の古墳がありましたが消滅し、いまは石碑が建てられています。
18	浦畑古墳群	古墳	3基の古墳が確認されています。
19	塔の本古墳	古墳	直径15mほどの古墳が確認されています。
20	天神塚古墳	古墳	直径15mほどの古墳が確認されています。
21	正福寺遺跡	奈良～鎌倉	お寺の跡と考えられています。
22	正福寺山古墳群	古墳	古墳3基が確認されています。
23	本谷遺跡	古墳～平安	土器などが採集されています。
24	永勝寺境内遺跡	奈良～鎌倉	古い瓦や、お経を埋めた筒などが見つかりました。
25	谷山城跡	南北朝	懐良親王や菊池氏など南朝方の拠点となった山城と伝えられ、平坦地や切り通しがあります。
26	兜山西遺跡	不明	土器などが採集されています。
27	兜山墳墓	中世	人骨の入った壺などが見つかっています。
28	兜山遺跡	縄文	縄文土器や黒耀石が採集されています。
29	東山古墳	古墳	古墳2基が確認されています。
30	伝懐良親王陵墓	室町?	石棺3基が見つかっています。

31	山本町西屋敷古墳群	古墳	平成4年に2基の古墳を調査し、石棺からは耳飾や玉、鉄製の武具などが出土しています。
32	阿弥陀堂跡	鎌倉・室町	享禄2年（1529）年の銘がある石碑が残っています。
33	東谷遺跡		土器などが採集されています。
34	山シブ遺跡	弥生	土器などが採集されています。
35	尾畑遺跡	弥生	弥生時代の甕棺墓が九州大学によって調査されています。
36	落間遺跡	縄文	石棒が発見されています。
37	一ノ谷遺跡	古墳	土器などが採集されています。
38	泉遺跡	中世	地名などから有力者の館があったと考えられる遺跡です。
39	不光院遺跡	古墳～中世	昔は観興寺の一部だったと伝えられる場所で、平成7年には調査を行い、溝などが見つかっています。
40	西宮ノ上遺跡	平安～江戸	土器などが採集されています。
41	不動上遺跡	古墳～江戸	土器などが採集されています。
42	不動島遺跡	古墳～鎌倉	土器などが採集されています。
43	観興寺遺跡	奈良～江戸	土器などが採集されています。
44	南山ノ下遺跡	古墳～鎌倉	土器などが採集されています。
45	前畑・立野古墳群	古墳	円墳30基以上がみつかっています。

## ■貴重な指定文化財たち■

No.	指定文化財の名前	指定の区分	こんな文化財です
40	絹本着色観興寺縁起	絵画 (国指定)	観興寺の創建にかかわる伝説と、繁栄の様子が描かれた絵縁起で、現在は京都国立博物館に寄与されています。
41	千光寺梵鐘	工芸品 (県指定)	草野氏が寄進した鐘で、南北朝時代の永和3年（1377）の銘があります。
42	柳坂菅根の櫨並木	天然記念物 (県指定)	高曽根川の堤防に、南北約1.1kmにわたり180本の櫨が植えられ、紅葉の時期は多くの人で賑わいます。
43	永勝寺のケンボナン	天然記念物 (市指定)	クロウメモドキ科の高木で、県内には類例が少ない貴重な樹木です。
44	永勝寺の古瓦	有形文化財 (市指定)	「柳坂山 戌」の文字が記された軒平瓦で、応永5年（1398）に作られたと考えられます。
45	柳坂のアカメヤナギ	天然記念物 (市指定)	高さ20mの大木で、樹齢は200年以上といわれています。
46	上野家庭園	名勝 (市指定)	兜山を借景とした回遊式の庭園で、上野家には文久4年・明治38年の家相図も残されています。
47	山本郡・御井郡 郡界標	有形民俗文化財 (市指定)	山辺道沿いに元禄8年（1695）に建てられ、江戸時代の地理や交通のようすがわかる資料です。

## ■山本校区の歴史年表■

山本校区のできごと	時代	西 暦	日本のできごと
●兜山の山頂に人々が生活（兜山遺跡）	旧石器	20,000	狩り・漁労・採集などで生活する
		10,000	土器や弓矢を使い始める 日本列島がほぼできあがる 落とし穴での狩りが盛ん
●甕棺墓が営まれる（尾畑遺跡）	縄文	400	稲作が伝わる
		紀元前	
●水縄山地北麓にたくさんの群集墳がつくられる（西屋敷古墳群、前畑・立野古墳群など）	弥生	紀元後	倭国大乱 卑弥呼が邪馬台国を治める 古墳が造られ始める
		300	
●観興寺が建てられる ●永勝寺が建てられる	古墳	500	筑紫君磐井の乱（527） 仏教伝来（538）
		600	群集墳が盛んにつくられる
●老松神社が建てられる（950年頃？） ●不光院遺跡の溝が埋まる ●千光寺が栄西によって建てられる （建久2・1192）	飛鳥	700	大化の改新（645） 白村江の戦いで大敗北（663） 筑紫大地震（679） 平城京に都を移す（710） 筑後国府・国分寺がつくられる
		奈良	
●谷山城が南朝方の最前線基地となる ●草野永平が千光寺に梵鐘を寄進 （永和3・1377）	平安	800	平安京に都を移す（794）
		鎌倉	
●戦乱によって、寺社が衰微 ●御井郡・山本郡境界標が建てられる （元禄8年・1695）	室町	1200	鎌倉幕府の成立（1192） 室町幕府の成立（1338）
		1400	
●御井郡・山本郡境界標が建てられる （元禄8年・1695）	桃安山土	1500	応仁の乱（1467） 豊臣秀吉の天下統一
		1600	江戸幕府の成立（1603） 久留米城下町ができる（1624～44）
	江戸	1900	明治維新（1868）

兜山

浅井の  
一本桜

青木繁句碑

老松神社

千光寺

永勝寺

御井郡・山本郡郡界標

山本小学校

ハゼ並木

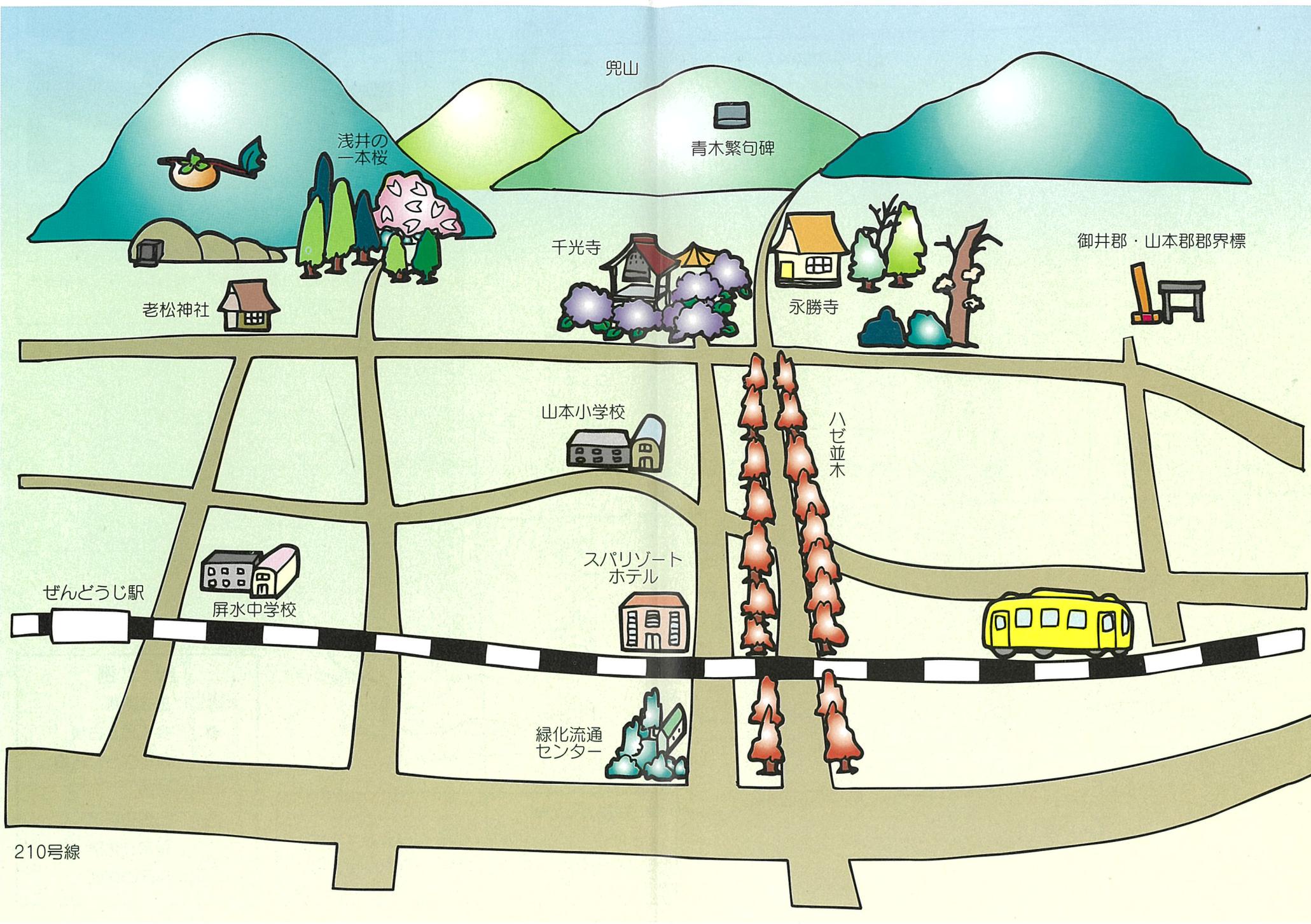
ぜんどうじ駅

屏水中学校

スパリゾート  
ホテル

緑化流通  
センター

210号線



# 文化財マップ

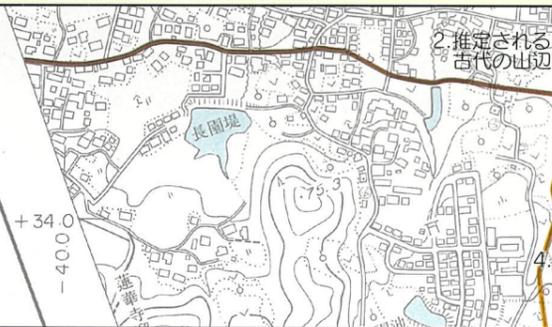
## 柳坂曾根の櫛並木 (県指定)

江戸時代に溝の奨励によって盛んに植えられたもので、  
その実はロウソクの原料となり、苦しい藩の財政を  
助けていました。



## 御井郡・山本郡郡界標 (市指定)

元禄8年(1695)、久留米城下町から豊後国へ通じ  
る山辺道沿いに建てられたものです。



## 上野家庭園 (市指定)

明治時代の初め頃に造られたと考えられる庭園で、  
兜山を背景とし、池と築山、石組で構成された雄  
大な庭園です。



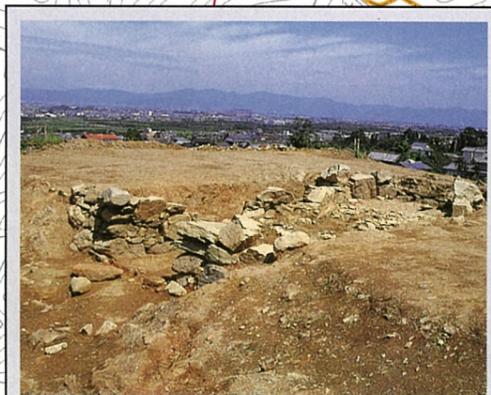
## 45.柳坂のアカメヤナギ (市指定)

高さ20m、幹の周囲2.7m、枝は10mに  
広がる大木で、樹齢は200年以上と推定  
されています。



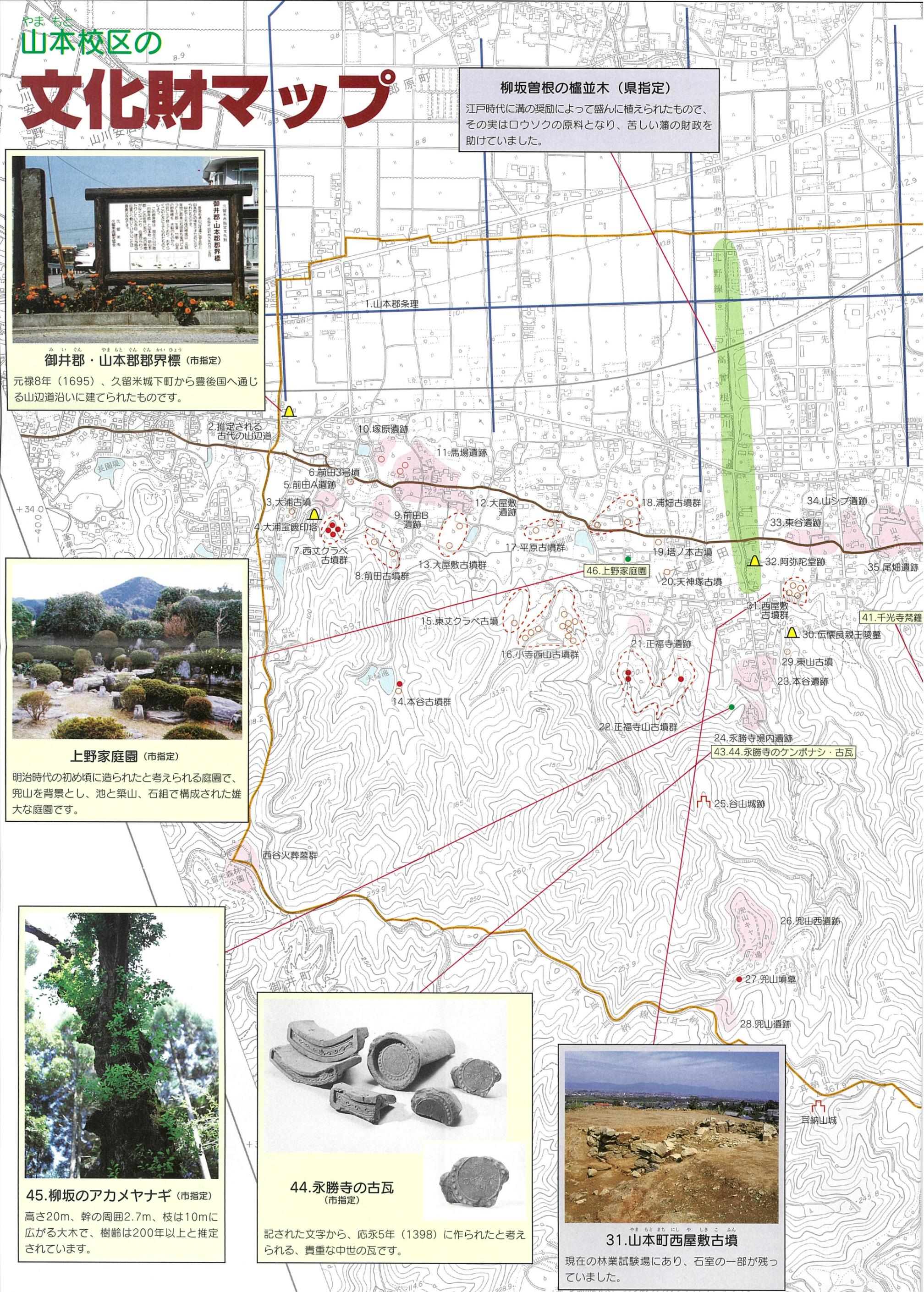
## 44.永勝寺の古瓦 (市指定)

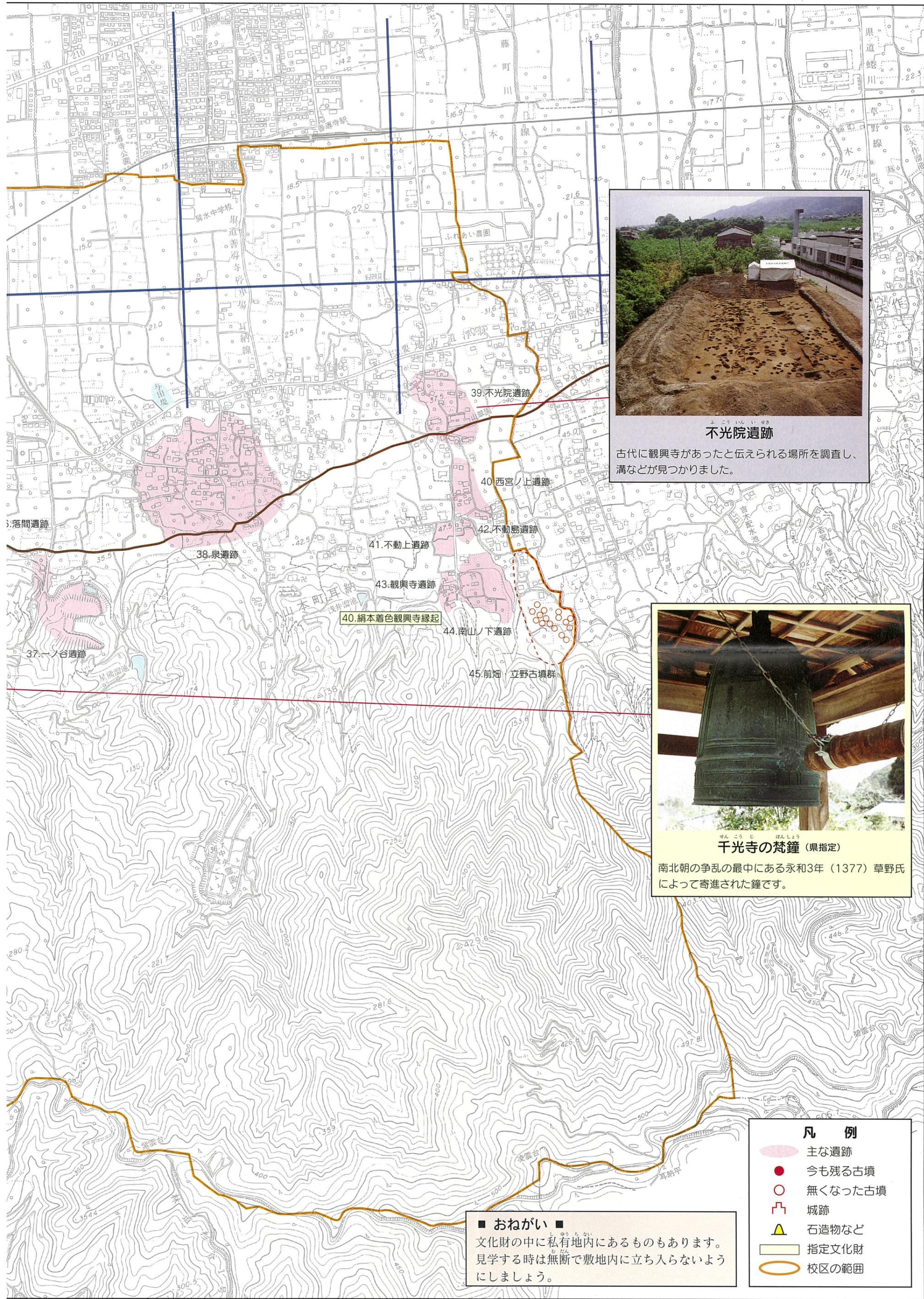
記された文字から、応永5年(1398)に作られたと考え  
られる、貴重な中世の瓦です。



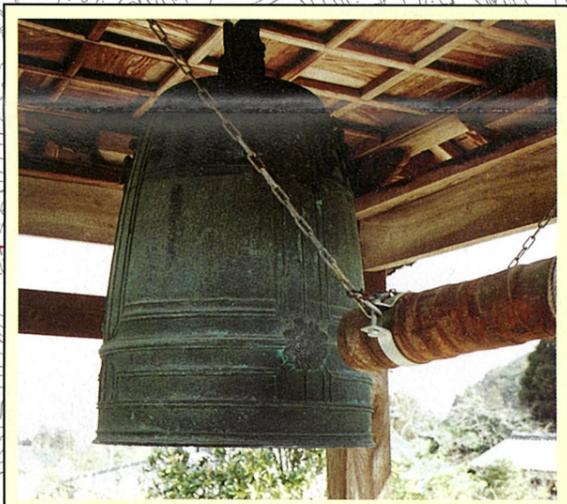
## 31.山本町西屋敷古墳

現在の林業試験場にあり、石室の一部が残っ  
ていました。





**不光院遺跡**  
 古代に観興寺があったと伝えられる場所を調査し、溝などが見つかりました。



**千光寺の梵鐘 (県指定)**  
 南北朝の争乱の最中にある永和3年(1377)草野氏によって寄進された鐘です。

■ おねがい ■  
 文化財の中に私有地内にあるものもあります。見学する時は無断で敷地内に立ち入らないようにしましょう。

- 凡 例**
- 主な遺跡
  - 今も残る古墳
  - 無くなった古墳
  - 城跡
  - 石造物など
  - 指定文化財
  - 校区の範囲

## 久留米市埋蔵文化財センターのご案内



不光院遺跡の体験発掘のようす

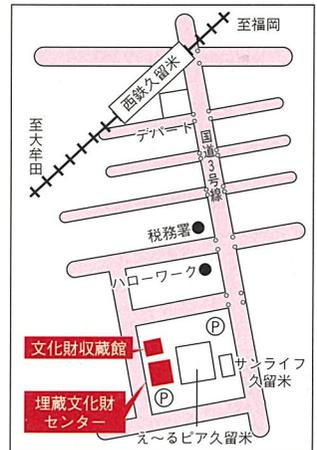
市内の遺跡から出土した土器や、図面・写真などの記録を収蔵・整理・研究するため、平成6年4月にオープンしました。センターでは、資料の貸し出しや文化財に関する相談に応じています。また、企画展として『ふるさとの歴史とふれあっ展』や毎年春には『文化財フェスタ』、秋には『考古資料展』を開催し、合わせて体験学習や現地説明会・スライド映写会など盛りだくさんの企画を行っています。

歴史に興味のある方もない方も気軽にお越しください。

開館時間：午前9時～午後5時

休館日：土・日・祝祭日・年末年始

入館料：無料



### 《文化財に関するお問い合わせ先》

久留米市市民文化部 文化財保護課

久留米市城南町 15-3 (市役所 12 階)

☎0942-30-9225 FAX 0942-30-9714

E-mail: [bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp](mailto:bunkazai@city.kurume.fukuoka.jp)

久留米市埋蔵文化財センター

久留米市諏訪野町 1830-6 (えーるピア敷地内)

☎0942-34-4995 ☎0942-34-5045

山本校区の文化財マップ

平成15年3月31日

発行：久留米市教育委員会

編集：教育文化部文化財保護課

〈表紙〉柳坂曾根の櫓並木  
(県指定)